

C-RAG

さらに3ピースのメリットを活かした緻密なサイズ設計が可能。今回マッチングしたXJ・STYLEコンプリート(ワイド仕様)でのワイルド感、ワイド感、デイプリムはジムニーのそれをもうや越えている。それもそのはず16×8Jで、インセットは驚きのマイナス38!こうしたオーバーフェンダー、リフトアップなどのハードカスタムの声に応えてくれるフルカスタムスベックホイールなのだ。

また組み立て式铸造3ピースにもかわらず、他社製の鍛造1ピースに迫るコストパフォーマンスであることも嬉しい。

2 023年、T・GRAB I Cとともにジムニー&シエラ用の王道・铸造3ピースホイール「C-RAG GALVATRE 2」が登場! その名の通り、「C-RAG GALVATRE」から進化したホイールだ。かつてRV市場を席巻した往年の組み立て式3ピースホイールを現代的解釈で復活させたのがガルバトレだが、もちろんこの2代目もメイドインジャパンのWORK品質。ディスクデザインは初代の丸穴ディッシュに対して、往年のC-RAGに存在していたシンプルながら5本スポークのデザインに新たにコンケイブ感をあわせて、現代的にアレンジ済み。また、3ピースながら従来の常識では考えられない軽量ホイールであることも嬉しいポイントだ。

かつてRV市場を席巻した往年の組み立て式3ピースホイールを現代的解釈で復活させたのがガルバトレだが、もちろんこの2代目もメイドインジャパンのWORK品質。ディスクデザインは初代の丸穴ディッシュに対して、往年のC-RAGに存在していたシンプルながら5本スポークのデザインに新たにコンケイブ感をあわせて、現代的にアレンジ済み。また、3ピースながら従来の常識では考えられない軽量ホイールであることも嬉しいポイントだ。

現代に甦った往年の雰囲気が漂う MADE in JAPAN の組み立て式、軽量、铸造3ピースホイールも新世代に進化!

# C-RAG GALVATRE 2

クラッグ・ガルバトレ ツー

16  
インチ

GALVATRE 2のカラーは新たに加わったマットカーボンと先代で好評のカットクリアが標準色。リムはバフアルマイトリム。センターキーは未設定。



●カットクリア (標準色)



●マットカーボン (標準色)

## SPECIFICATIONS

### C-RAG GALVATRE 2

SIZE	INSET	HOLE-P.C.D.	PRICE (税込)	
			MGM カラー	MSP カラー
16×5.5J	19/7/-6/-19	5H-139.7	¥59,400/本	¥61,600/本
16×6.0J	26/13/±0/-12/-25		¥60,500/本	¥62,700/本
16×6.5J	32/19/7/-6/-19/-31		¥61,600/本	¥63,800/本
16×7.0J	38/26/13/±0/-12/-25/-38		¥62,700/本	¥64,900/本
16×7.5J	32/19/7/-6/-19/-31/-44		¥63,800/本	¥66,000/本
16×8.0J	26/13/±0/-12/-25/-38		¥64,900/本	¥67,100/本

●カラー: マットカーボン(MGM)、カットクリア(MSP) ※バフアルマイトリムが標準

※カスタムオーダープラン、リムアレンジ、セミオーダーカラーにも対応  
詳細は WORK オフィシャル WEB のカスタムオーダープラン仕様価格表をご確認ください。

- 構造: 铸造3ピース ●安全技術: JWV/VIA 規格適合
- 付属品: エアバルブ
- オプション (+¥5,500/本): ゴールドピカスポルト
- オプション (+¥1,650/本): ブラックエアバルブ



マーベラスが生み出したジムニー&シエラ用JB64&JB74のボディキットはその名の通り、XJチェロキーをモチーフとした角目仕様。具体的には角目キットや前後バンパー、そして今回の撮影車両はワイド仕様のため、さらにJeep 然としたオーバーフェンダーを装備(フェンダーレスのナロー仕様も設定)。さらに3インチリフトアップしていることで、LT265/70R16 サイズのオフロードタイヤを-38というインセットで履くことができるのだ。

過去のC-RAGに存在していた往年の5本スポークモデルをモチーフとしながら、デザインの見直しを回り、スポーティーなコンケイブテイストを加えて、現代的スタイルにアレンジ。スポークのコンケイブの角度はホイールを深くみせるために2段階にしている。さらにコンケイブラインから伸びるスポークエンドにアンダーカットを入れ、ピカスポルト座面部の上にかぶるようなシャープなディスクオーバーデザインを演出。

多彩な車両マッチングやカスタムが可能なマルチピース構造がガルバトレ2の特徴。標準色のカットクリアとマットカーボンの以外に、セミオーダーカラー11色とカラリスム5色、カラリスムクリア6色に加え、リムアレンジのバリエーション5パターン、ピカスポルト3種、インナーリムは標準とブラックアルマイトリムの2種を用意し、カスタマイズバリエーションは全1000通り以上! 今回はその一部を掲載したが、誰もかぶらない唯一無二のカラーリングなどを模索したい! 現在、ここまでのフルカラーバリエーションのホイールは GALVATRE シリーズ以外では存在しないだろう。



●装着ホイール: C-RAG GALVATRE 2 (マットカーボン/リム マットブラックアルマイト) : 16×8.0J インセット-38/5H-139.7  
●装着タイヤ: YOKOHAMA GEOLANDAR X-AT (LT265/70R16)  
●MODEL CAR: ジムニーシエラ JB74 JIMNY XJ STYLE コンプリートカー (ワイド仕様) ●Special Thanks: マーベラス (https://marvelous55.com)



アシモト  
お洒落も性能も車輪から

最新・人気の四駆ホイールマッティング 車輪実装

WORK ワーク

☎ 06-6746-2859 (西日本コールセンター)  
☎ 048-688-7555 (東日本コールセンター)  
☎ 052-777-4512 (中日本コールセンター)

● <https://work-wheels.co.jp>  
● <https://crag.work-wheels.jp>

レース直系ホイールの「T-GRABIC」が次の舞台に！  
第三のモデルは高機能を誇る骨太2×6スポーク仕様

# CRAG T-GRABIC III

クラッグ・  
ティーグラビック スリー

16  
インチ

17  
インチ



スポークをリムに差し掛かる直前に、一段落としたコンケイブ形状とすることで、スッキリとした足長感を披露する6ツインスポークデザインを採用。さらにT-GRABIC 3独特のデザインの演出とともに、ホイール自体の強度確保にも貢献する新形状のトラスフレームを設定。ツインスポークより1段下の外周部にあるこのトラス形状は要注目だ。

ビードロックリングテストをモチーフとしたイメージのあるこれまでのT-GRABICと変わり、アウターリムフランジはシンプルに。ただしピニアポルトホールに見立てたディンプルをリムフランジより少し内側に配置したことで、力強い印象は健在だ。

▼マットブラック



5ホール/6ホール用の2サイズを用意し、ホイールのデザインバランスを崩さないように設計。カラーは各サイズに2種類設定。定番のマットブラックのほか、独立したスポークに天面ポリッシュ加工を行なったブラッククリアグレーを設定。今までにないT-GRABICのカラーバリエーションを構築し、その世界観を広げている。

SPECIFICATIONS

SIZE	INSET	HOLE-P.C.D.	COLOR	PRICE (税込)
16x7.0J	38	5H-114.3	MAT BLACK BLACK CLEAR GRAY	¥44,000/本 ¥50,600/本
17x8.0J	20	6H-139.7	MAT BLACK BLACK CLEAR GRAY	¥51,700/本 ¥58,300/本

- カラー：マットブラック、ブラッククリアグレー
- 仕様：鋳造1ピース ●安全基準：JWL/JWL-T/VIA 規格適合
- 付属品：センターキャップ、バルブ



ブラッククリアグレー



●FT PORTER 125キャンパーパッケージ

1,848,000円(税込)~  
※架装にあたっては車両持ち込み原則のほか、諸費用が別途必要。詳細はFT PORTERの公式WEBへ。

FT PORTERのキャンピングカーは、オーストラリア発祥の「車中泊をしつつクルマで長距離を旅する」オーバーランドスタイルで構築。同社の中山社長は名だたるメーカーとボンサー契約を結んでいるアウトドアのプロフェッショナルで、これまで山や海で遊んで培ってきたことや経験を盛り込んでいる。

そのコンセプトは走破性の高いハイラックスをベースにポップアップルーフを採用し、荷物を積載しながら就寝スペースを確保していること。さらにルーフキャリアには自転車やバイクといった大きなアイテムの積載も可能で、流し台とともにシャワールームもあるので、外に引っ張ることでウエットスーツや靴などを洗うこともできるという。こうした利便性を追求

しながら設計はあくまでも「シンプル・イズ・ザ・ベスト」。それというのも、最大のポイントとなるのが、キャンピングカーとしてはハードルの高い「8ナンバー登録」の実現のため。極力コンパクトでシンプルなつくりを徹して、軽量化を図ったことで実現できた8ナンバーキャンピングカーは、道具としての究極の姿のひとつといえよう。

最新の機能美を盛り込んだ「T-GRABIC III」がついにデビューした。  
ポイントに例に挙げると、ツインスポークの外周部にはトラス形状(トラスフレーム)が組み込まれている。これはホイールの剛性を高め、さらに全体の強度を確保する役割を担いながら、独特のデザインを演出する。なお、T-GRABIC IIIには「あらゆる地形を走る上で、重力や衝撃を制する」という意味が込められている。その名の通り、タフなイメージに裏打ちされた、オフロード志向、オフロードテイストを演出するにはベストな選択肢なのだ。

オフロードに特化したWORK R K発の四駆専用ホイールシリーズ「CRAG(クラッグ)」は、アルミホイール装着における大原則である「スタイルアップも足もとから」を満たし、オンロードだけでなく、オフロードでも高い走行性能を発揮することをコンセプトに掲げている。

なお、ブランド名のCRAGは「CROSSOVER RACING GEAR」の頭文字をとったもので、舗装されていない山道やマッド、野原、丘陵地、森林といった、まさに平地だけでなく、あらゆる地形を乗りこなすホイールであることを至上命題とするブランドだ。

そんなCRAGの代表的モデルが「T-GRABIC(ティーグラビック)」。世界一過酷と評されるオフロードレースであるBAJA1000参戦マシンに装着されていたワンオフ鍛造ホイールを基に生まれたシグネチャーモデルとなり、もちろんそのマシンを駆るオフロードレーサーの魂が夫選手のノウハウが随所に盛り込まれ、レースで培われた技術を活かし、泥や砂の排出性や衝撃に耐える強度やタイヤを保持する性能など、ディテールにはすべて意味がある。そう、あらゆる面で優れたパフォーマンスを実現しているのだ。

そこからフィードバックされた市販品は「T-GRABIC II」でさらに強靱で新しいフォルムを生み出し、この2023年に



新しく設定されたセンターキャップ・オーナメントは、レッドラインを採用することでレーシーなマインドを高めつつ、ホイール全体のデザイン性を向上。安全基準の証(VIAやJWL)やWORKロゴはあえてセンター部に集約して配置することで、リムフランジをシンプルに美しく演出。

- 装着ホイール：CRAG T-GRABIC 3 (助手席側：マットブラック/運転席側：ブラッククリアグレー)：17x8.0J インセット 20/6H-139.7
- 装着タイヤ：YOKOHAMA GEOLANDAR M/T G003 (LT265/70R17)

MODEL CAR：ハイラックス GUN125 / FT PORTER125 オーバーランドスタイルキャンパー Special Thanks：FT PORTER by タクホウコーポレーション <https://www.ftporter.com>